

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所(入居者)と地域とのつきあい	地域との支え合いの中、開かれたホームを目指し近隣の方々がもっと気軽に訪ねて来られるようにしたい。防災訓練には消防団、近隣住民に協力をお願いしたい。	夏祭りで夜店出店(から揚げ)、カラオケ出演や敬老会の参加(今年はスタッフのみ)、地区の寄り合い、催し物などに参加、又、月2回の老人会(寿会)お宮掃除活動に参加することで顔なじみになり気軽に会話が出来るようになる。また地域の飲食店を利用(レストラン、ラーメン屋、寿司屋、たこ焼屋)する事で顔を覚えていただく。畑仕事(借りている畑)地主さんや周りの農家の方から野菜作りを教わりながら一緒に収穫する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	質の確保、向上を目指す。マンネリ化しない工夫。区長、民生委員、老人会会長に限らず近隣住民の方々の参加をお願いしたい。	地域の方々と関わりながらホームを知っていただき、理解と支援を得られるように努力する。率直な意見やアドバイスなど出していただき実際に活かしていく。	12ヶ月
3	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	権利擁護と尊厳の保持について考えを職員全員勉強する。	研修会にはスタッフ全員が積極的に参加する。参加できないスタッフ(夜勤などで)研修内容を持ち帰り内部研修で理解できるように徹底する。成年後見人、身体拘束も含め、職員全員が権利と尊厳に対する意識を高め、法や制度を理解する。	12ヶ月